

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・寒くなり、カイロや暖かい飲物が売れ出している。クリスマスケーキの予約の滑り出しも好調である。年末年始、バレンタインデーやホワイトデーなど、きめ細かく品ぞろえをすれば、まだ数字は伸びる。
	やや良くなる	一般小売店〔家電〕（経営者）	・消費意欲は良いと思わないが、エコポイント効果で関連商品の売上が良くなっていく。
		コンビニ（経営者）	・通常商品のほかに、クリスマスケーキ、おせち、年賀状印刷、ギフト等、年末商材でやや景気が上向きになることを期待している。
		家電量販店（店長）	・12月の歳末商戦に期待を持っている。ボーナス支給額が減額になる報道等から若干の心配がよぎるが、エコポイント商品のテレビ関連消費は期待大である。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算と補助金の効果が見込める。
	観光型ホテル（営業担当）	・近隣の他業種の業況は、最低の状況から多少上向きとの見解もあり明るい兆しも見られると聞く。	
	変わらない	一般小売店〔家電〕（経営者）	・季節商品の動きも悪く、売上増は厳しい。政策によっては今後のエコポイント絡みの商品の動きも微妙である。
		百貨店（営業担当）	・今月が悪いので変わらず厳しい。非常に先行き不安である。
		百貨店（販売促進担当）	・これから年末にかけて歳暮ギフトの需要が見込まれるが、スタートした1週間はギフトの売上も良くなく、通常の衣料品の落ち込みに加え、食品部門での回復も期待できない。
		百貨店（販売促進担当）	・冬期賞与の減額等、可処分所得の減少が消費者の生活防衛意識を更に加速させる。消費者の低価格志向が続き、年末商戦、クリスマス商戦も期待が持てない。
		スーパー（総務担当）	・地域の企業の業績が厳しく、消費拡大につながっていない。
		コンビニ（店長）	・近隣の閉店の関係はあったが、それが落ち着いてくるので、特別変動はなくなる。客の動きとしては客単価が下がっているため、大きくは落ち込まないと思うが、あまり景気自体は変わっていかない。
		コンビニ（店長）	・商圏に隣接する大型ショッピングモールがオープンして4か月がたつが、立地条件の悪化は固定してしまったようである。来客数が減ったことで、商品売上点数が減少し、さらに商品単価が次々と低下し、総売上はかなり減少してしまっている。何とか下げ止まって欲しい。
		衣料品専門店（統括）	・年末年始に向けて品物が動き出す時期だが、今年は年始用のタオル等の注文が大変遅れている。客は様子見なのか買い控えなのか気掛かりである。
		乗用車販売店（販売担当）	・周辺には観光地、製造業の会社が多いが、製造業も観光地のホテルの売上の売上もとにかく上がらない。客単価が下がっているということで、よほどのことが無い限りは良くなるはず、このままの悪い状態で変わらないまま推移していく。
乗用車販売店（営業担当）		・減税、補助金の効果か、少し先に低年式車条件を迎えるユーザーからの新車代替の問い合わせが来るが、まだまだ商談件数は低調である。	
乗用車販売店（販売担当）		・店がリニューアルオープンして、一時は来客数が増えたが、ここ1、2か月これ以上増える気配がないので、変わらない。	
住関連専門店（店長）		・来客数はほぼ前年並みだが、客単価が下がっている。	
住関連専門店（仕入担当）		・消費者の価格志向は年末、年始に向けてさらに加速し、生活の防衛意識は継続する。短期的にはその志向に沿った販売方法しか方策が見付からず、営業利益への影響は避けられない。	
タクシー運転手		・円高が進み、海外に依存する企業の業績はますます悪化する。それに伴い経費の軽減を図り、タクシーの利用は無駄使いとされ、切り捨てられる。大口法人顧客の利用がさらに減少し、この先が思いやられる。	
通信会社（経営者）	・ここにきてガス代金が払えないという客が非常に増えている。また、各家庭においてガスや灯油の使用料も減っており、いかに家計が厳しいかがうかがえる。それだけ景気が冷え込んでいるということである。		

	テーマパーク（職員）	・当園の営業成績は、イベント等の開催により微増であるが、来園者数や動向を見る限り良くなる兆しは見受けられない。
	遊園地（職員）	・高速道路料金引下げ等により休日の商圏が広がりつつあることはプラス要因として捉えられるが、一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響が大きく、もうしばらくは消費単価の大幅な伸びが期待できない。
	ゴルフ場（従業員）	・予約状況が昨年と同じである。
	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・駐車場の月ぎめ契約の募集を再度開始した。現在駐車場の約100台くらいは既に予約済みであり、これからの伸びを期待する意味を込めて募集を開始しているが、今のところ予約はそんなに多くないので、今後も変わらない。
	設計事務所（所長）	・現在の段階では良くなるという要因がない。
	住宅販売会社（経営者）	・周りがお金を使わない状況になってきており、ますますデフレ現象が続いてしまうという懸念がある。不動産を買おうという力も考え方も起きないのではないか。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・テナントの空き室にいつまでたっても入居者がいない。不動産屋に問えば、安い所に安い部屋を探し回っている人が多く、今までに半値になった所もあるという。
	商店街（代表者）	・年末から新年にわたり一段の景気低迷がある。
	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・企業の生産は多少回復の兆しがあるようだが、個人消費が良くなる要因が見当たらない。
	百貨店（営業担当）	・マインド的にやはり盛り上がり欠ける。テレビ、新聞等、メディアの中で、冬のボーナス、デフレの中で消費マインドが低下し、商品の期待は出来ない。
	百貨店（営業担当）	・年末になり、歳暮の客が多く来るとは思うが目的以外の商談は一切ない。特に、衣料品にデフレが進む状況では非常に良い状況ではない。
	スーパー（経営者）	・雇用不安や収入に対する冷え込みがある。
	スーパー（統括）	・冬季賞与の減額は、歳暮、クリスマス需要の大きなマイナス要因となる。円高ドル安で多少原価は下がる等のメリットがあるが、地域の輸出関連企業の業績悪化に拍車がかかり、商圏内の景気回復が見込めない等、デメリットの方が大きい。
	スーパー（経営企画担当）	・景気回復が進まない中で、デフレがますます進行している、業界筋の観測でも年末商戦の悲観論が多い。
	コンビニ（経営者）	・年末に向けての雇用不安や賞与の減少から、消費を抑えようとする心理が働く。
	衣料品専門店（店長）	・全体的に冬物衣料が振るわないために、メーカー各社の春物の作り込みが少なく、売れ筋デザインにヒットがあってもすぐに品切れになるためになかなか売上が確保できない。
	乗用車販売店（従業員）	・現在の円高傾向と消費低迷でますます冷え込んでいく。
	住関連専門店（開発業務責任者）	・政府のデフレ対策の遅れに加え、消費者の将来に対する不安感が顕著で買上が弱い。
	一般レストラン（経営者）	・身の回りの人たちの話を聞くと、やはり収入が減っており、なかなか思うように消費が出来ないという話がほとんどである。他の業種でも大変厳しいという意見が多いので、良くはならない。
	都市型ホテル（経営者）	・市内のホテル同士が低価格競争を過熱させており、すでにデフレスパイラルに突入している。急激な円高で自動車産業を抱える周辺地域は更に景気後退へ進む感がある。
	都市型ホテル（支配人）	・2～3か月先の予約状況が前年に比べて思わしくない。インフルエンザの影響と企業の不景気による旅行差し控えて企業及び観光の団体の予約が減っている。
旅行代理店（副支店長）	・この先インフルエンザの流行がどこまで広がるかが心配である。その不安のため間違いなく旅行者は減少する。また、業界もデフレ傾向が強くなり、安近短の旅行が多く、しかも自家用車で旅行をする人が多くなってきているため利益が薄い。先行き不安のため財布のひもは今よりもさらに厳しく引き締められる。	
通信会社（経営者）	・11、12月は補正予算と年末の関連で多少は販売量が伸びるが、これは時期的なものではなく、円高や株下落などまだまだ大きな不安要素を抱えたままである。年末の一般消費も非常に厳しい事が予想され、相変わらず底ばい感否めなない。	

		ゴルフ場（業務担当）	・ 2～3か月後の予約状況は、昨年に比べて低調である。競合他社は昨年より若干値下げした料金体系を出しているの で、相対的に冷え込んでいる。予約の取り込みも12月につ いてはまた前年比で若干プラスだが、1～2月についてはな かなか引き合いがないので、先行きは若干下回ってくる。
		ゴルフ場（支配人）	・ 12月は例年の忘年ゴルフの予約が非常に少ない。特に12 月半ば過ぎの予約が低迷している。また、雪によるクローズが 非常に心配である。
		競輪場（職員）	・ 大型のレースがあったが目標額に対して実績は20%ダウン ということで、前年度の売上よりも下がっており、上向きを 望むことはできない。
		美容室（経営者）	・ 政府の政策や円高の要因で客の節約志向が強まっているの で、景気が良くならない。
		その他サービス〔自動 車整備業〕（経営者）	・ 顧客である町工場では、最近週休3日が増えている。夕方 4時に帰社し、トラックを減らし、人員も徐々に削減し始め ている。
		その他サービス〔清 掃〕（所長）	・ 年末年始で普段なら消費も期待できるが、円高等も加わっ ており、今後も期待できない。
		設計事務所（所長）	・ 悲観的な状況に感じられる。じわじわと景気悪化が進みそ うである。
		設計事務所（所長）	・ これから年末に向けて稼働日数が1か月を切り、残り少な い日程で効率良く稼働するかが今後の課題となる。
		住宅販売会社（経営 者）	・ 不景気感がさらに深まり、お金の動きが特に鈍くなってい る。空きテナントが増え、街中は閑散としており、閉そく感 が感じられる。
		住宅販売会社（従業 員）	・ 受注量の落ち込みはそのまま完工物件の減少に直結するた め、収益の悪化は避けられない。
	悪くなる	商店街（代表者）	・ 商店街の中でもエコ関連商品の取扱店と取扱のない店との 格差がますます拡大しているので、ボーナス商戦や初売りに 影響が出る。
		一般小売店〔青果〕 （店長）	・ ここ3か月、非常に悪い。仕入れにくる居酒屋や中華料理 店等は、前年よりかなり落ち込むと話している。当店でも前 年比80%まで落ち込んでいる。
		百貨店（総務担当）	・ ボーナスの減少、残業無しによる収入減と、テレビで話題 の超目玉商戦により、利益が取れない。また、暖冬で冬物商 品がほとんど出でおらず、悪循環ばかりである。
		コンビニ（経営者）	・ 競合店ができて客の流れが大幅に変わったので、売上がダ ウンする。
		衣料品専門店（販売担 当）	・ 人が出てこない状況が変わらない限り、景気が良くなる要 素はない。ますます年末に向かって買い控えが進む。暖冬の 予報が出たので厚手の物は相当苦戦する。
		スナック（経営者）	・ 上向いていく気配がない。何年も営業してきた他店が年末 前にどんどんつぶれている。全く手の打ちようが無い。
		都市型ホテル（スタッ フ）	・ ネットプランや客室の改装を実施しているが、自己資本の ために思い切った改装工事ができないので少しずつやってき ている。その中で、今後2、3か月先が一番心配な時期であ る。予約も昨年より悪い。また、市内にホテルが一昨年から 5軒増えているので、その影響が出てくる。
		旅行代理店（支店長）	・ 2～3か月先となると年明けになるが、法人の動きはほと んど無い。個人についても動きが無いので非常に危惧してい る。旅行の場合、特に景気と関わってくるので、2～3か 月後は冬にもなるので更に厳しい。
		タクシー運転手	・ 12月は例年だと、忘年会の時期で多少、タクシーを使う客 がいるが、今年の場合は飲み会、忘年会をほとんどやらない 状況でタクシーも利用客が少ない。
		美容室（経営者）	・ これまでよりも一層客足が減っている。昨年は従業員に ボーナスを出せなかったが、今年もやはり出す余裕がない。 自分の給料を減らすことも考えている。
企業 動向 関連	良くなる	輸送用機械器具製造業 （総務担当）	・ 3か月先の受注量インフォメーションでは、今年の1～3 月と比べると来年の1～3月は倍以上の受注になる。また、 直近のインフォメーションでも増加基調にある。昨年と比 べ、非常に良くなる。ただし、4月以降はまだまだメーカ からの発表がないので不安が残る。
		その他製造業〔環境機 器〕（経営者）	・ フロン関連の2月と3月の完成納品と3月末と4月始めの 環境処理装置完成、納品予約と契約が続いている。
	やや良くなる	金属製品製造業（経営 者）	・ ここに来て、当社の取引先、自動車、産業機械、工作機械 以外からの多くの引き合いが出てきている。特に官庁関係が 多いのだが、多少良い方向に向かってきている。

	一般機械器具製造業（経営者）	・受注案件の内容から多少潮目が変わる気配が感じられるが、最近の円高がどの様に推移するかによって、局面が大きく変化することを懸念している。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・相変わらず、悪い会社は悪いままである。徐々に良くなっている取引先が増えていくようなので、良くなっていく。
変わらない	一般機械器具製造業（経営者）	・10月の受注高が当分続く。売上が極端に良くなる情報も入っていないし、悪くなる情報も入っていない。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・いろいろな業種で良くなっているものがあまりない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・メインの取引先の状況が良くならない限り、良くなったとは言えない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・10～12月は良いが、1～3月は4～6月と同じぐらいの数字になってしまうと予想を立てている。公共をかなりやっているの、年度末の特需が出れば救われるが、景気対策が打たれないと相当厳しい。
	輸送業（営業担当）	・例年並みの年末年始の物量の動きは予測できるが、特に景気回復しているような状況ではなく、低価格のプライベートブランド商品の動きがあるものの、同一商品の動きが悪い。インフルエンザ予防等の関係、マスクや消毒液等の数量が多少増えている。全体的には現状の景気の先が明るくなる材料がまだ見付からない。
やや悪くなる	食料品製造業（営業統括）	・急激な円高、日本経済のデフレ化により安物の輸入ワインに目が移り、国産品は苦境に立たされている。
	食料品製造業（製造担当）	・年末に向けて、ますます景気が悪くなる感が広がり、本当に欲しいものしか購入しなくなる。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年賀状の季節だが、昨年に比べて8割しか受注が無い。大変厳しい状況である。
	化学工業（経営者）	・年が明けてからのメイン商品の受注が全く期待できないが、士気を上げるためにも12月には賞与を出したい。例年よりも大幅にダウンするが、やむを得ない。
	金属製品製造業（経営者）	・今現在も景気は悪いが、先行きはもっと悪くなるのではないかと懸念している。早く仕事が増えればと思っている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・先行きが見えず、不安が多い。工場の自動車関係の12、1月くらいまで、カメラ関係の加工も2～3か月先というようなことを聞いている。当社においても全く先が見えず、非常に不安な状態が続いている。
	金融業（理事）	・土木建設業をはじめ、建設業全般にわたり、新規の受注が減少している。
	金融業（総務担当）	・取引先が売上の目減りにより、経費削減がさらに進まざるを得ない状況になりつつあると話している。また、消耗品等の購入単価の更なる削減により経費を抑えるように言われている。
	金融業（経営企画担当）	・衣料系小売業に関しては、特定の店舗を除き値下げ競争などで非常に苦しい状況に置かれている。値下げしてもなかなか売れない状況が散見され、デフレが相当な速度で進行していると想像される。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・建設工事の延期や、計画の取り止めが出ていていると聞いている。地域の新聞広告にも今までは12月や正月は付き合いの発注もあったが、取り止める広告主が多くなっている。広告主からは来年度の厳しさが切実に聞かれる。
	経営コンサルタント	・資金繰りの行き詰まりから廃業を余儀なくされたり、経営の継続を断念せざるを得なくなるケースが増えると考えられる。
	司法書士	・先に向かっての相談や予定されているというような話を聞いていないので、やはり少し落ち込むのではないかと考えている。
	社会保険労務士	・賞与支給額が大幅に減る等、来年の春過ぎまでは厳しい状況が続くと見て計画を立てている事業所が多い。
悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・関係企業で倒産が相次いでいる。
	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車向けのスポット量産の仕事も終わり、例年のような年度末に向けての仕事の動きも感じられない。客先からは大幅なコストダウンや海外への生産移管の話が本格化している。既存の仕事からは明るい兆しが見られず、大幅な受注減が予想される。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・仕事量の減少が続く中、円高による各企業の設備投資の凍結、政府による公共事業の見直し等、不安材料ばかりで先行きが全く見えない。

		<p>その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者） 建設業（総務担当）</p> <p>広告代理店（営業担当）</p>	<p>・売上は前年比30%減である。業界内では50%減もまれではない。年越しが1つの山になる。</p> <p>・直近3期連続で赤字決算であったが、9月決算は何とか最終利益が計上出来たので、少しほっとしているが、現況での金融機関からの新規融資は無理な状況なため、資金繰りがまだまだ心配である。</p> <p>・広告予算は減らされたまま復活せず、案件が無ければ競合もしない。事業そのものを見直す時期が来たと認識させられる。</p>
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる		
	変わらない	<p>人材派遣会社（経営者） 職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（経営者）</p>	<p>・忙しくなるような要素がほとんどない。段々悪くなる一方である。</p> <p>・各企業の合理化等で当地域の工場への集約や、他地域の工場への移転等の動きが見られる。</p> <p>・円高の影響により将来不安が増大し、投資が冷え込んでいる。</p>
	やや悪くなる	<p>人材派遣会社（管理担当） 人材派遣会社（営業担当） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員） 学校〔専門学校〕（副校長）</p>	<p>・賞与が前年の半分以下になりそうである。</p> <p>・雇用に自由化が進んでいない。製造業派遣禁止方向に見られるように、規制が強化され気味である。規制を強化すると企業に海外進出が進み、雇用のパイが縮小し、経済の拡大も無い。</p> <p>・新規求人数が前年同月比35%減少し、企業側の採用意欲は依然低調のままであり、12月末にかけて事業主都合による解雇離職者の増加も懸念されることから、雇用面での景気動向はさらに厳しくなる。</p> <p>・本来伸びるべき先の求人が今月は伸びていない。また、自動車産業に若干の明るい兆しがあったものの、その周辺機器等の製造業も最近ではかげりが見えつつある。よって、先行きはやや悪くなる。</p> <p>・県内の有効求人倍率、大学、高校生の就職内定率、本校の就職内定率すべてにおいてバブル経済崩壊後の状況より悪く感じる。経済活動に参加できない若者が増加することによりすべて停滞していく。</p>
	悪くなる		